



## これからも平和な日常が続くことを願って 白鷹町平和祈念事業を開催

終戦記念日である8月15日、役場敷地内の平和都市宣言碑の前に、白鷹町平和祈念事業が行われました。

今年も、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、規模を縮小しての開催となりました。式では、町民を代表し、新成人の金田柊太郎さんと長澤桃さんが平和都市宣言を朗読しました。その後、佐藤町長と今野議会議長が平和へのメッセージを述べ、献花と折り鶴が献呈されました。

今なお世界各地で続く争いや核の脅威。それらがなくなり、平和がいつまでも続くようにと、出席者全員で祈りを捧げました。



平和都市宣言を朗読する金田さん（右）、長澤さん（左）



## パラリンピック聖火フェスティバル 「白鷹町の火」採火式

東京2020パラリンピック聖火フェスティバルが山形県内の全35市町村で実施されました。白鷹町では、令和3年度成人式終了後、パラリンピックの聖火となる「白鷹町の火」を成人代表者の4名、芳賀美優花さん・小形あゆみさん・菊地七望さん・新野寿音さんに協力いただき、まいぎり式と呼ばれる簡易火起こし器を使って成人式参加者の見守る中、採火しました。

東京2020パラリンピックの聖火はオリンピックの聖火とは違い、全国各地で採火された火とパラリンピック発祥の地として知られるイギリスのストーク・マンデビルで採火された火が東京でひとつに統合されることで誕生します。

「白鷹町の火」は8月16日県総合運動公園にて、「やまがた未来の火」としてひとつに合わさり東京へ向け出立、東京では全国の火と統合され、パラリンピックの聖火が誕生しました。東京2020パラリンピック競技大会は8月24日の開幕から9月5日の閉会式まで13日間に渡り開催され、パラリンピックの聖火は選手たちをあたたく照らしていました。



協力して自分たちの手で火を起こす代表者たち



聖火を中心に記念撮影。左から芳賀さん、小形さん、佐藤町長、菊地さん、新野さん

# 令和3年度 白鷹町成人式



祝 成人おめでとう

新たな門出  
晴れやかに

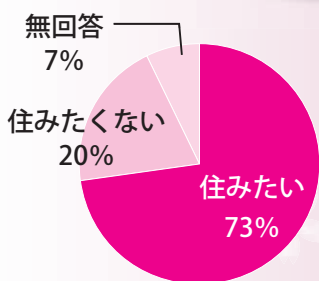


8月15日(日)、令和3年度白鷹町成人式が町中央公民館で行われ、新成人たちの二十歳の門出を祝いました。今年、白鷹町で成人を迎えたのは、平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた158人で、その内60人が成人式に参加しました。

コロナ禍の開催となり、出席者のPCR検査の実施、内容の簡素化など、今回も感染症対策を徹底し、短時間で式が執り行われました。

式典では、新成人を代表して澤田多喜也さん(鮎貝)が「コロナ禍で生活様式が一変し、当たり前前の尊さに気付き、日常の大切さを知る機会となった。新たな時代となり、今までは異なることも多くあると思うが、一人の大人として、どのように社会に貢献していくべきかを真剣に考え、自分の言葉や行動に責任を持ち、常に前向きに精一杯努力を重ねていきたい」と誓いの言葉を述べました。

式典終了後には、出席者全員で記念撮影を行い、仲間たちとの久しぶりの再会に喜び合い、短時間ではありましたが和やかな雰囲気にも包まれていました。



将来、白鷹町に住みたい(帰りたい)ですか？



白鷹町は好きですか？

＼ハタチのキモチ／  
成人式  
ふるさとアンケート  
20 years old

調査日：令和3年8月15日  
配布数：60枚  
回収率：98.3% (59枚)